

授業科目 NO. 801 助産学概論

Introduction to Midwifery

授業の形態：講義

単位数（時間数）：1 単位（15 時間）

開講年次・学期：3 年次・後期

必修・選択の別：選択・助産師選択コース必修

キーワード：助産師の定義、コアコンピテンシー、助産業務、歴史・文化、生命倫理、母子保健

1 金沢医科大学看護学部への到達目標（全科目共通です）

- ① 豊かな人間性と倫理観
- ② 看護学の知識と技術、及び実践力
- ③ 地域志向を視野に入れた専門性の獲得
- ④ 生涯学習能力
- ⑤ 国際的視野の獲得

2 学習目標

1) 一般目標（GIO）

助産ケアを行う際の基盤となる考え（助産師の定義・業務、助産の歴史・文化、倫理、助産師のコアコンピテンシー）及び国内外の母子保健の実情を理解し、専門職としての助産師の在り方と今後の展望について考察する。

2) 行動目標（SBO）※カッコ内の数字は上記の金沢医科大学看護学部への到達目標との関連を示す。

- (1) 助産師の定義、コアコンピテンシーについて説明できる。(①②④)
- (2) 助産師の業務について説明できる。(②③⑤)
- (3) 助産の歴史及び母子に関わる多様な文化、慣習について説明できる。(②③⑤)
- (4) 助産倫理と生命倫理について理解し、現状と課題について考察し説明できる。(①②)
- (5) 疫学や保健統計から母子を取り巻く社会の動向と課題を理解し、専門職としての助産師の在り方と今後の展望について述べることができる。(①②③④⑤)

3 学習内容

授業の内容については、授業計画に示す。

4 評価

評価項目	評価割合
定期試験成績	90%
実習成績	%
レポート	10%
授業態度	%
小テスト	%
口頭試問	%
その他	%
合計	100%

5 教育担当者

科目責任者：神崎 光子

教授 神崎 光子（母性看護学・助産学）

6 教育担当者の実務経験

本科目は、母性看護学及び助産学領域での実務経験のある教員が担当する。

7 教科書

- 1) 助産学講座 基礎助産学 [1] 助産概論 医学書院
- 2) 厚生労働統計協会（編集）：国民衛生の動向、厚生労働統計協会

8 推薦参考書

- 1) 母子保健の主なる統計 母子保健事業団
- 2) 日本看護協会監修：新版 助産師業務要覧基礎編、日本看護協会出版会
- 3) 日本看護協会監修：新版 助産師業務要覧実践編、日本看護協会出版会

9 準備学修に必要な時間及び具体的な学修内容

- 1) 授業 1 コマにつき、事前学修・事後学修として計 180 分程度必要である。
- 2) ウィメンズ看護学概論で学習した内容を復習しておくこと。
- 3) 公益社団法人日本助産師会 助産業務ガイドライン 2024
https://www.midwife.or.jp/user/media/midwife/page/guide-line/tab01/josangl2024_PW.pdf
- 4) <助産師のコア・コンピテンシー 2021> 公益社団法人 日本助産師会
<https://www.midwife.or.jp/midwife/competency.html>

10 課題（試験やレポート等）に関するフィードバック

レポートについては、提出後にコメントをしてフィードバックする。

11 履修上の注意事項

グループワーク・ディスカッションでは、積極的に発言し、メンバー間で協働すること。

12 オフィスアワー等

質問は、毎回授業中及び終了後に受け付ける。

メールアドレス：kanzaki@kanazawa-med.ac.jp

第3学年

助産学概論

学期	回数	開講日	時限	区分	講義・実習内容	レポート/小テスト等	講座・科目群名	教員名
後	1	11月05日（木）	1	講義	オリエンテーション・助産師の定義、助産師のコアコンピテンシー・助産師業務と関係法規		母性看護学・助産学	神崎教授
後	2	11月05日（木）	2	講義	助産を支える理論と助産研究		母性看護学・助産学	神崎教授
後	3	11月12日（木）	1	講義	助産の歴史、女性や母子にかかわる文化・慣習・近代日本の母子保健の変遷		母性看護学・助産学	神崎教授
後	4	11月12日（木）	2	講義	我が国の母子保健制度と関係法規		母性看護学・助産学	神崎教授
後	5	11月19日（木）	1	講義	我が国の母子保健指標（統計）の推移と課題		母性看護学・助産学	神崎教授
後	6	11月19日（木）	2	講義	助産師教育と母子保健、助産師活動の国際比較		母性看護学・助産学	神崎教授
後	7	12月24日（木）	1	講義	生命倫理と助産活動における倫理的課題		母性看護学・助産学	神崎教授
後	8(0.5)	12月24日（木）	2	講義	助産師としての在り方と今後の展望	レポート	母性看護学・助産学	神崎教授
後		1月16日（土）	2	試験	定期試験		母性看護学・助産学	神崎教授